

鈴木康弘
社会環境学専攻地理学講座
(減災連携研究センター教授)

Dr. Yasuhiro SUZUKI
Department of Geography, Nagoya University
Professor at Disaster Mitigation Research Center



■ 専門分野 Research Fields

変動地形学・活断層論・災害地理学 Tectonic Geomorphology, Active Tectonics, Disaster Geography

■ 研究テーマ Research Topics

- ①活断層地形から地震発生を予測する Long-term forecasting intraplate earthquakes
- ②リアリティのあるハザードマップを作る Creating realistic hazard-maps
- ③モンゴルの自然災害とレジリエンス研究 Natural disaster and Resilience of Mongolia

■ 主な著作 Bibliography

- ①「活断層大地震に備える」ちくま新書(単著)2001
- ②「原発と活断層－想定外は許されない」岩波科学ライブラリー(単著)2013
- ③「防災・減災につなげるハザードマップの活かし方」岩波書店(編著)2015
- ④「レジリエンスと地域創成－伝統知とビッグデータから探る国土デザイン」明石書店(共編著)2015
- ⑤「草原と都市－変わりゆくモンゴル」風媒社(共編著)2015
- ⑥「活断層地形判読」古今書院(共著)1999

■ 災害地理学・地震ハザード情報ポータル

http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/disaster_geography/

■ 2017年度の研究テーマ

- ①モンゴル非常事態庁と連携した防災力向上プロジェクト
- ②地球環境変動に伴う大規模自然災害リスクに関する啓発プロジェクト(モンゴル)
- ③熊本地震に関連した活断層調査

□ メッセージ

普段なにげなく見ている風景の中に、社会のあり方を考えるヒントが隠されています。それに気づけるかどうか、主張できるかどうか、日本の将来がかかっているようにも思うのです。地理学はこうしたセンスを磨きます。他に例のない文理融合の世界へあなたも来てみませんか！

→ 朝日新聞「私の視点」2014年7月19日 <http://digital.asahi.com/articles/DA3S11251770.html>

